

おおま

No. 74
岬の光

平成24年8月1日発行

議会だより



思いがかたち

フェリー“大函丸”起工式 in 広島県尾道市

主な内容 6月定例議会

○平成24年 第2回定例会

P 2～3

○一般質問

P 4

○報告

P 5

○新船起工式・編集後記

P 6

平成24年 第2回定例会

会期 6月8日～6月12日

一般会計補正予算など全会一致で原案どおり可決、承認

平成24年度補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ9億4,800万円を減額し、予算の総額を62億9,642万3千円とした。

歳出の主なるもの

総務費

財産管理費で防災行政用無線補修工事費4億9,600万円を計上。
※町内スピーカー、14機交換。



電子計算費で児童手当の一部改正に伴いプログラムカスタマイズ委託料3億6,700万円を計上。
※子ども手当から児童手当へ移行。

民生費

児童措置費で子ども手当9億4,140万円を減額し、児童手当9億1,050万円を追加計上。

農林水産業費

水産業振興費で水産振興事業費補助金500万円を計上。

商工費

観光費で新船活用フォーラム開催事業費として1億3,300万円を計上。

土木費

港湾建設費で根田内地区、漁船ポンプ用電源設置工事費1億8,900万円を計上。
※ポンプ用電源9ヶ所照明灯2ヶ所。

河川総務費でカラスの潤地区斜路滑り材移設工事費52万5千円を計上。
※滑り材50本を最北端よりへ移設。

消防費

災害対策費で防災備蓄食料品購入1億8,000円を計上。

○主食 アルファ米 1,900食
白米、五目ごはん、ドライカレー、白がゆ

○副菜・缶詰

1,224食
ウインナーソーセージ、さんまの蒲焼き、さば味噌煮、おろしり

○汁もの・みそ汁 2,000食
おみそ汁、玉子スープ

○副食・パン 432食

オレンジ、黒豆、プ
チヴェール

○飲料水・水ペットボトル 500ml 2,400本

○防災用クラッカー・リッツS缶 480食

教育費

学校管理費で臨時講師賃金1億8,600万円を追加計上。

※大間中2名、大間小2名、奥戸中1名、奥戸小1名、計6名の体制。

中学校費で大間中学校体育館の誘導灯の交換費用、6台分26万円を計上。

諸支出金

奥戸中学校オイルタンク通気管改修工事費76万4千円を計上。



病院会計支出金で大間病院会計貸付金4,100万円を減額計上。

予備費

財源調整し1億3,700万円を減額計上。

**海峡保養センター
事業等特別会計**

歳入歳出それぞれ15万円を追加し、予算の総額を1億6840万6千円とした。

専決処分

・報告第1号

平成24年度へ繰越した事業については、下記の表のとおり。

**下水道事業
特別会計**

歳入歳出それぞれ52万7千円を追加し、予算の総額を2億6047万5千円とした。

・報告第2号

町が実施するごみ運搬業務中に、相手方車輛に追突した事件による損害賠償額の決定。

水道事業会計

支出の営業費用で62万2千円を減額し、収益的支出の総額を1億3856万7千円とした。

・承認第3号

東日本大震災の復興支援に係る地方税法の改正に伴い、町税条例の一部改正の必要に迫られた事による。

・承認第4号

地方税法の一部改正に伴い、町税条例の一部改正と国民健康保険税条例の一部を改正する必要に迫られた事による。

・承認第5号

平成23年度大間町一般会計補正予算、第1条既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億3954万7千円を追加し、予算の総額を49億9734万8千円とした。

・承認第6号

平成23年度大間町国民健康保険特別会計決算見込みにあたり、保険給付費の増・税収入減により財源調整の予算措置を早急に講じる必要に迫られた事による。国民健康保険税2250万円を減額し、同額を財政基金繰入金より計上。

○議案第31号

大間町保育所設置条例の一部を改正する条例
※平成25年4月予定のうみの子保育園、指定管理者導入のためのもの。

○議案第32号

大間町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例

常任委員会報告

産業民生

本委員会に付託された陳情を審査した結果、公的年金の改悪に反対する意見書の提出を求める陳情書に対し、高齢者の生活を守る立場からも、又、地域経済を活性化させる立場からも採択すべきものと決しました。

条例の一部改正

○議案第30号

大間町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

平成23年度 大間町一般会計繰越明許費繰越計算書

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳		
					既収入特定財源	未収入特定財源(国庫(県)支出金等)	一般財源
			円	円	円	円	円
3	民生費	1 社会福祉費 介護従事者処遇改善臨時特例基金国庫返還金	504,000	504,000	504,000		
6	農林水産業費	2 水産業費 材木漁港整備事業	215,000,000	127,420,000		122,683,000	4,737,000
8	土木費	2 道路橋梁費 大間奥戸線道路整備事業	20,518,000	3,090,000			3,090,000
9	消防費	1 消防費 防災用備品購入事業	342,000	342,000		113,000	229,000
	合	計	236,364,000	131,356,000	504,000	122,796,000	8,056,000

**第2回臨時議会
(平成24年7月19日)
工事請負契約の締結**

**議案第37号
工事請負契約の締結について**

1. 町道大間奥戸線道路改良工事(1工区)
2. 指名競争入札
3. 1億1445万円
4. 大間町大字奥戸字向町80番地2
野崎建設工業株式会社
代表取締役 野崎徳子

**議案第38号
工事請負契約の締結について**

1. 町道大間奥戸線道路改良工事(2工区)
2. 指名競争入札
3. 6604万5千円
4. 大間町大字奥戸字小奥戸211番地1
株式会社 竹正工務店
代表取締役 竹内正弘

**議案第39号
財産の取得について**

1. 大間町小型動力ポンプ付積載車購入
2. 指名競争入札
3. 1072万9451円
4. 青森市栄町1丁目12番1号
有限会社 丸栄消機
代表取締役 鳴海定俊

一般質問



野崎 信行 議員

質 問

- 1、夜間などの緊急時に備え、一人暮らしの世帯に非常ベルか、緊急通報システムの導入を求めたいが。
- 2、住宅用火災報知器を全戸につけ、火災情報発信機として活用し、発信装置のID信号から消防署に連絡、火災場所を特定させ延焼防災や、避難活動に活用したほうが良いと思うが。
- 3、大間病院の時間外外来診療者に対する職員の対応が悪いので、改善を求めたい。
- 4、大間町繁殖センターを、将来、指定

管理者制度を活用する考えがあるか。

- 5、海からの浚渫・水道・下水道残土などを活用して道路整備をしたら安くつくと思うが。
- 6、福島原発災害の津波・地震の状況を、今後の町の災害対策につなげるため、視察をしたらどうか。
- 7、大間警察署の移転計画があるなら、大間病院の向かいが最適だと思うが。
- 8、養殖場に水槽を10基増やし、ナマコ養殖事業に力を入れて頂きたいが。
- 9、スマートシティ構想は。

10、大間崎観光にサイクリング自転車を貸し出しては。

11、フェリーに地元で給油してもらうため、フェリー埠頭に油タンクを設置して欲しい。

12、2ツ石地区に簡易水道施設を設置して欲しい。

13、大間町で高体連を呼べる施設を建設したらどうか。

14、大間病院の病室に冷蔵庫を設置して欲しい。

15、大間病院に外科医を。

16、役場建設用地に子どもが遊べる遊具の設置を考えては。

17、フェリー埠頭から大間崎までの標識が少ないので、多くして欲しい。

18、町の公共施設でも、省エネ対策が必要と思うが。

町長答弁

1、緊急通報システム

の件ですが、他市町村の一部で設置しているが、誤操作による誤報が多いと聞く。又、県・町社協で福祉安心電話を取り扱っているが、個人負担として6〜7万円の掛かる事から、今後の課題としたい。

2、消防本部に確認したところ、現時点では火災報知器から直接通知するシステムの導入は考えていない。

3、病院の職員には、事あるごとに親切な対応をするよう話しておりますが、再度、指導を強化してまいりたい。

4、将来的に、指定管路が可能なのかどうか、検討をしていきたい。

5、浚渫・水道工事の残土は、強度・衛生面で道路工事に使用できません。使用に

は土壤改良が必要で費用が高む事から難しい。

6、発電所内の視察は受入れ不可能と言われています。

7、建設用地のご協力をと、平成21年ごろお願いされた記憶がございますが、現時点では取りやめとの事です。今後の状況を考えれば、再度申し入れも想定されるため、議会の公共施設配置計画策定・建設特別委員会等で協議しながら考えた

い。

8、現時点ではスペースが確保できませんので、既存の施設で効果を上げられるよう努力していきたい。

9、国もこれから実証実験を行うとの事、私自身もこれから勉強させて頂きたい。

10、観光振興には有効と考えますが、採算性、管理等も含め研究していきたい。

11、町がタンクを設置

する考えは有りません。

12、簡易水道事業は100〜5000名以下の事業です。3世帯では事業を実施できません。

13、多額の費用が見込まれるので難しい。

14、レンタル会社と協議してきたが、採算が合わず、無理と言われている。

15、外科医の確保、又、手術のためのスタッフの確保が難しいため、今は一次医療が主です。手術・緊急の場合は医療連携に基づき対応しているので、ご理解を頂きたい。

16、役場庁舎建設計画の中で、一部公園化を検討したい。

17、調査検討したい。

18、施設の老朽化によって効率の悪化がございますが、省エネの対策は必要と考える。必要最小限の電気で賄うなど、対策を講じている。

下北地域広域行政事務組合議会

「下北地域広域行政事務組合議会」とは、むつ市議会から10名、各町村議会から2名（ただし、野辺地町・横浜町・六ヶ所村各1名）選出され合計21名で構成されている。

むつ市を中心に各町村が連携し、消防・衛生（塵芥・し尿処理）・福祉行政を効率よく運営するため負担金を出し合い設立したものである。

因みに、24年度大間町の負担金総額は「2億7797万円」

平成24年6月29日第44回臨時会が開催され、
「議案第12号」 大間消防署に配置されている高規格救急自動車（救急車）を更新するための議案が提出され、可決した。

「契約の相手方」青森トヨタ自動車(株)むつ店
 「取得価格」2100万円



「議案第13号」

大間消防署に配置している高度救急用資機材を更新するための議案が提出され、可決した。

「契約の相手方」(株)シバタ医理科むつ営業所

「取得価格」2194万5千円
「議案第14号」

大間消防署に配置している水槽付消防ポンプ自動車を更新するための議案が提出され、可決した。

「契約の相手方」(有)丸栄消機
 「取得価格」7347万9千円



議員研修会

平成24年7月12日青森市民ホールに於いて、時事通信社解説委員の田崎 史郎氏を講師に迎え「これからの政局・政治のゆくえ」と題して「県下町村議会議員研修会」が開催された。

テレビでお馴染みの同氏が、政治の裏側や、混迷を深めている政局を、笑いと、皮肉を交えながら、分かりやすく解説してくれた。

「県下町村議会議員研修会」終了後、青森センターホテル会議室に於いて、「原子力政策に関する議論および再処理事業について」と題して大間町議会議員研修会を開催した。日本原燃(株)から取締役副社長桑原 茂氏・地域交流部長塚田 明広氏・地域交流部副部长杉田 忠昭氏の3名から、貴重なお話を聞くことが出来た。

新船起工式開催

平成24年5月17日(木) 11時から
内海造船(株)瀬戸田工場船台で関係者による神事行う

大間・函館フェリー航路対策特別委員長 宮野 昭 一



金澤町長、石戸議長、宮野大間・函館フェリー航路対策特別委員長、石丸津軽海峡フェリー(株)社長、中国運輸局因島海事事務所西村所長、内海造船(株)役員など、およそ20名参加により、大間町が来年4月就航を予定している1985総トン

型フェリーの起工式が船台上で厳粛に行われました。溶接ははじめの儀では、金澤町長と内海造船(株)竹波副本部長がそれぞれ溶接機のスイッチをいれ作業開始の儀式を行った。その後、町長、議長、津軽海峡フェリー(株)、中国運輸



局、内海造船(株)の順番で玉串奉奠を行い、30分程度で終了した。新船は年内をかけて制作し、来年早々には設備関係の装備をし、試運転をしたのち、4月には大間・函館の就

航を目指しています。新船は全長91メートル、総トン数1985トン、旅客定員478人で、エスカレーターなどバリアフリー設備を整え、総事業費26億400万円。

編集後記

7月16日今日は、「海の日」朝から雨で、せっかくの祭りも人出もななく、さびしい祭りでありました。

もうそろそろ梅雨の明ける時季ですが、ヤマセの雨降りは寒かったです。雨と云えば、九州地方は、大変な被害で言葉で表せないと思います。亡くなられた方々の御冥福をお祈りし、一日も早い復興を祈ります。

我が町と云えば、災害の少ない町ですが、災害はいつ起こるかわかりません。油断大敵。(記：竹内)

議会広報編集委員

委員長

加藤 正喜

副委員長

千代谷 誠

委員

竹内 弘

宮野 昭一

小林 和美

野崎 信行